

コード	302040101
記入日	H26.6.4

課コード	110
課名	福祉長寿課
課長名	峯脇 泉
担当者	浦田 三喜男

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 26 年度
------	----------

評価対象事業名称	手摺設置事業
----------	--------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 24 年度 ~ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	3
施策コード	302	施策名称	協力し支えあう地域福祉の推進	項コード	1
基本事業コード	30204	基本事業名称	安心して住める福祉のまちづくりの推進	目コード	1
事務事業コード	3020401	事務事業名称	福祉のまちづくり（やさしいまちづくり）事業費	細目コード	1331
関連計画	新上五島町老人保健福祉計画	法令・条例規則等			

計画 (PLAN)		※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。				
対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 町民		(対象指標1) 21,809人(H25.4.1現在)				
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・10地区代表者から提出された安全確保と歩行支援を目的とした手摺を設置した。	***** 手摺設置箇所数	10箇所	100%	設置件数÷ 設置申請件数	***** 平成25年度
		① (達成率分析)	予算の範囲内で事業を計画的に実施した。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		***** 生活環境の向上	-	-	-	***** 平成25年度
		① (達成率分析)	集落内の歩道等に歩行支援を目的とした手摺を設置することで、やさしいまち、ユニバーサルデザインのまちづくりが図られる。			
		② (達成率分析)				

実施 (DO)		※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。									
	単位	全体計画		24年度以前	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降	
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	
活動指標	① 箇所	18	18	8	10	10					
	②										
成果指標	①										
	②										
総事業費 C (A+B)	千円	5,341	5,341	2,052	3,289	3,289					
直接事業費 A	千円	3,941	3,941	1,352	2,589	2,589					
人件費 B	千円	1,400	1,400	700	700	700					
内訳	従事職員数	人	0.2	0.2	0.1	0.1					
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	5,341	5,341	2,052	3,289	3,289					

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	理由	毎年高齢者が増えてきていると考えるとニーズも増えると思われるので継続は必要である。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	利用者からも安心して通行ができるとの声が聞かれるので成果はでている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	設置要望箇所等を事前に当課で把握し、公道を管理する町担当課と役割分担について、有効性、効率性を踏まえながら協議し実施していくことで成果の向上につながる。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	理由	障害者、高齢者、要介護者の歩行の支援を考えると成果は出ている。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		● 代えられる ● 代えられない	理由	業務の役割分担を明確化することで、事業費及び人件費の縮減が可能である。	

改善 (ACTION)

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	歩行支援として町民に不便をきたさないよう当課で実施したが、住民の要望に対し道路の構造上の問題など、技術的分野が求められ効率的に事業を実施できなかった。
	今後、課題に向けた改善策	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に向け、道路管理者である町関係課と連携し基準を定めバリアフリー環境の整備を促進していく必要がある。

2次評価	高齢者の安全確保と歩行支援のため、老人福祉計画に沿って地域住民の要望を確認しながら、その効果が果たされるよう道路管理者と連携し必要な箇所へ設置すること。
------	--

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。